

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年4月1日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから4月1日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、4月5日の（1）高経年化技術評価に関する審査会合です。

議題は1つで、大飯4号機の30年の経過に伴う技術評価ということになります。

これは大飯4号機なのですけれども、3号機は既に同じ審査を終えていますけれども、今回は4号機ということで、4号機については今回が初会合ということになります。

次が、4月7日の（4）で、第1038回の審査会合です。

議題は2つありまして、1つが高浜の1・2号機の使用済燃料ピットの未臨界性評価の変更という案件についての設置変更許可ということになります。2月7日も同じ議題でやっております、そのコメント回答ということになります。

2つ目が、九州電力関係で、川内1・2号機と玄海の3・4号機の火災感知器のバックフィットについての設計工事計画認可ということで、こちらは今回が初会合ということになります。

次が、4月8日の（5）緊急時対応に係る訓練及び規制の関与の在り方に係る会合ということで、これは第2回と書いてはありますが、1回目は2月25日にやっております、今回は2回目ということですが。

今回は九州電力と関西電力から訓練の取組と、それを通じて感じた課題というのが報告されます。

あと、もう一点、資料にはないのですが、元々予定されていた会合の中止があります。

今週火曜のブリーフィングで、ALPSの処理水の審査会合、これが4月4日に開催予定と説明しましたがけれども、4月4日は事業者側の準備が整わずに中止になりましたということです。

次に、3ポツのところ、現地視察等ですけれども、（1）1Fを石渡委員が視察します。現地の取材が可能になっています。

説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—